

「辞書引き学習法」とは



「辞書引き学習法」は、中部大学現代教育学部の深谷圭助准教授が開発した、小学校低学年から取り組める学習法です。

辞書を引いたら、そのページに調べた言葉と通し番号を書いた付箋をはっていきます。

付箋をはることで、自分がどれだけ辞書を引いたか実感できるようになり、どんどん増えていくことで子どものやる気を引き出していきます。すると少しでも知らない言葉があると、喜んでページをめくるようになります。また、周りからも分かりやすいので、外からの評価も受けやすくなり、外発的動機づけも得やすいのが、辞書を引いた箇所に付箋をはる方法です。

1冊の辞書を入口として、自分で「答え」を探す面白さを知ると、子どもたちは片時も辞書を離さず、自分の興味・関心のおもむくままに、たくましく学び始めます。

帝京大学公開講座

# 辞書引き学習 ワークショップ

観覧自由

担当教官  
教育学部 初等教育学科  
サルカール アラニ  
モハメッド レザ 先生

講師紹介 木幡延彦氏  
ベネッセコーポレーション

小中学校事業部 辞典担当課長  
1961 年生まれ

2007 年から、「辞書引き学習法」  
開発者の深谷圭助先生の指導のもと、そのメソッドの平準化と普及活動を行う。

教員向け研修会、研究授業、保護者向け講演会を全国で実施中。  
国際授業研究学会で、深谷先生と共同研究発表(2010年・2011年)



『7歳から「辞書」を引いて頭をきたえる』深谷圭助著  
新潮社，2011(B/SB/ふ-44-1)

## ■開催日時

**5月21日(火)第1回:13:00~14:30**  
**第2回:16:30~18:00**

## ■場所

**MELIC 2階 グループ学習室 1・2**

お問い合わせ：帝京大学メディアライブラリーセンター [lib-riyo@main.teikyo-u.ac.jp](mailto:lib-riyo@main.teikyo-u.ac.jp)